

Recruiting
Information

2024年度採用情報

九州総合通信局

2024年3月



Table of Contents

目次

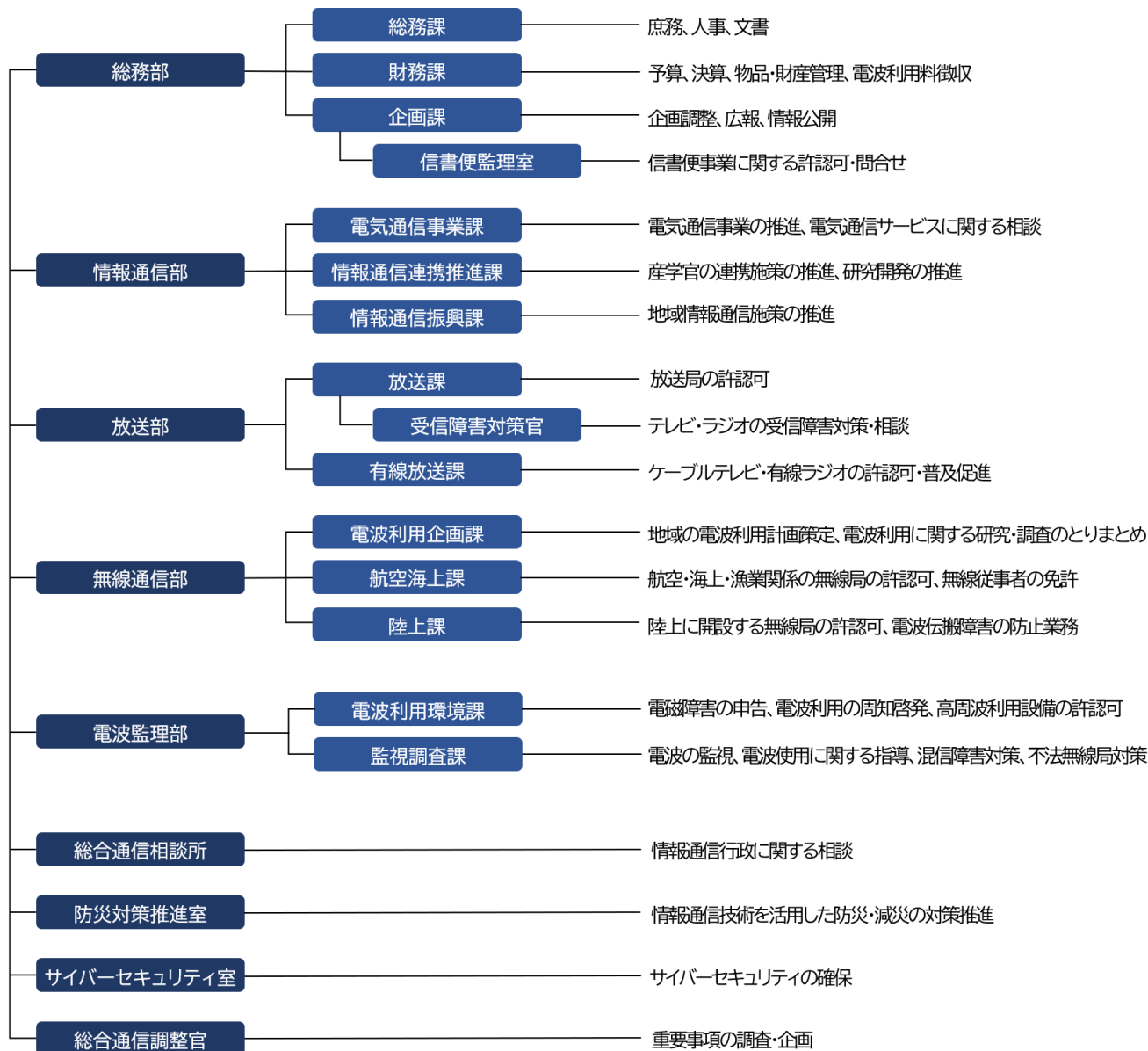
組織図	2
業務内容	3
先輩からのメッセージ	7
採用後のキャリア	11
福利厚生・ワークライフバランス	12
Q&A	14
所在・採用連絡先	16

About us

組織図

私たちは、情報通信に関する施策の実施機関及び国民の窓口機関として、九州地域における情報化の推進、電気通信の規律・振興、放送の普及・高度化、電波の監理等の業務を行っています。

九州総合通信局



➤ 九州総合通信局の
HPIはこちら



Job description

業務内容：情報通信部

情報通信部は、地域課題の解決のためICT基盤の整備支援を行うほか、電気通信事業者の監督や安心・安全なインターネット利用環境の整備などの業務を行っています。

地域情報化

ICTで地域を豊かに

高齢化や人口減少による働き手不足が深刻化するなか、デジタル通信技術を活用した新しい暮らし方・働き方・学び方の実現が求められています。

そのためには地域に寄り添ったデジタル社会の実装が不可欠であることから、ICT基盤となる光ファイバ・5G等のインフラ整備を推進し、ICTの利活用に向けたセミナー等を行っています。



セミナーにてVRゴーグルを体験する様子

電気通信の健全な発展

電気通信事業者の監督

電気通信事業の登録・届出や監督を行っています。

電気通信サービスに関する相談

携帯電話やインターネットサービス等に関する相談に対して、電気通信事業者、消費生活センター等と連携して対応しています。

e-ネットキャラバン等の実施

青少年が携帯電話やインターネットを安心・安全に利用できるよう、教職員や児童・学生・保護者を対象とした啓発活動(e-ネットキャラバン)を実施しています。



青少年に対する安心・安全なインターネット利用啓発

Job description

業務内容：放送部

放送部は、必要な情報を広く届ける放送サービスの普及促進のため、放送局の許認可や臨時災害放送局の開設支援、ケーブルテレビの推進などの業務を行っています。

放送局の許認可等

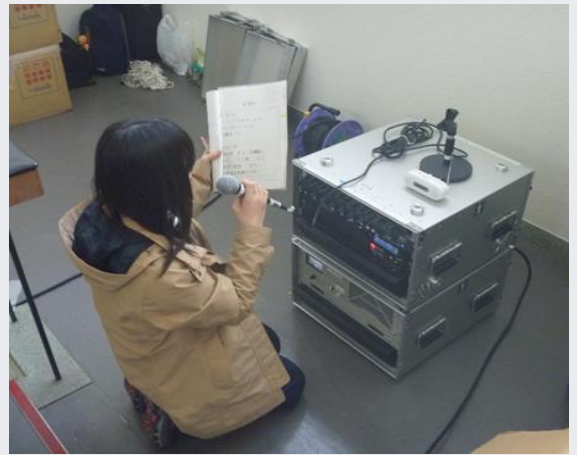
テレビやラジオなどの放送局

国民にとって重要な放送設備である、テレビやラジオといった放送局の免許・検査を行っています。

また、地域情報や防災・災害情報等を発信するコミュニティ放送の免許を行っています。

臨時災害放送局

災害が発生した際、自治体等が被災地の住民に向けてラジオ放送で生活支援情報を届けることができるよう、放送機器の無償貸与を行っています。



臨時災害放送局の聴取可能なエリア調査

有線放送の登録等

ケーブルテレビ事業者の登録等

専門チャンネル放送に加え、地域に密着した生活・行政情報を届ける役割を持つケーブルテレビに関して、事業者の登録等を行っています。

また、災害が発生した際、被災情報や避難情報を確実に提供できるようにするため、ケーブルテレビ網の高度化や送受信設備の整備支援を行っています。



ケーブルテレビ網の補助事業審査

Job description

業務内容：無線通信部

無線通信部は、限りある資源である電波を安心して利用できるよう、電波の有効利用の促進や無線局の許認可などの業務を行っています。

無線局の許認可等

身近で利用される無線局

スマートフォンの普及に伴い通信需要が急増する携帯電話やタクシー等の各種業務用無線など、社会基盤として身近で利用される無線局の免許・検査を行っています。

人命・財産を守るための無線局

航空機や船舶の安全な航行に不可欠な航空・船舶無線、国民の命と暮らしを守るための消防・救急・警察無線、災害時に重要な役割を果たす防災行政無線など、重要な通信を行う無線局の免許・検査を行っています。



衛星通信施設

電波の有効利用の促進

周波数の管理・電波利用の研究

電波は有限な国民全体の資源です。この共有資源である電波の利用状況などを調査し、新しい電波利用に役立っています。

また、電波の新たな利活用に向けた調査検討を行い、地域の電波利用に役立っています。



技術試験事務における潜在電界調査

Job description

業務内容：電波監理部

電波監理部は、適正な電波利用環境維持のため、違法・不法無線局の排除や電波の利用ルールの周知啓発活動などの業務を行っています。

電波監視・不法無線局対策

重要無線通信妨害の迅速な排除

社会的に重要な役割を担っている消防・救急無線や航空無線などに障害等が発生した場合は、迅速にその障害源を排除しています。

電波の監視、混信障害対策

電波がルールを守って利用されているか、電波の混信が発生していないか等、電波監視を行っています。

不法無線局の排除

不法無線局は、テレビやラジオの受信に障害を与えたり、携帯電話の通話を妨害したりするなど、暮らしに悪影響を及ぼすだけでなく、警察・消防・防災行政無線など人命、財産に関わる重要な無線に混信や妨害を与える場合もあります。そういった事態を防ぐため、警察などと共同で取締りを行っています。



電波の監視



船舶に設置された不法無線局の排除

電波に関する正しい知識の普及

電波の安全性に関する情報の提供

携帯電話やWi-Fiの普及により、電波が人体に与える影響への関心が高まっています。電波の安全性に関する正しい知識を国民が得られるよう、電波の安全性説明会を開催するなど、普及啓発に取り組んでいます。また、電波の人体影響に関する不安や疑問に対して、相談対応も行っています。



小学生向け電波教室の開催

Message

先輩からのメッセージ

8:30 登庁

まずはメールをチェックしてから、処理が終わった書類を発送したり、手続に関する問い合わせ対応を行います。

11:00 定例会議

毎週決まった曜日には課の会議が開かれます。1週間の予定や現在対応している案件を共有します

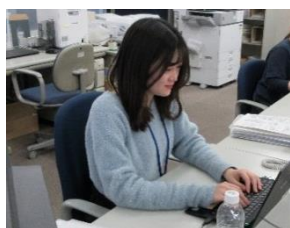
12:00 昼食

自宅や女性用休憩室で昼食。同期や先輩方とランチに行くこともあります。



13:00 入力作業

提出された申請書の情報を、誤入力がないよう、細心の注意を払いつつシステムに入力します。



15:00 検査準備

明日からの無線局検査に備え、日程調整や必要書類を確認しつつ、資料を整えます。



17:15 退庁

終業後はピラティスや図書館に足を運び、プライベートも充実しています。



無線通信部 航空海上課 係員

令和5年度4月採用
文学部卒

文系でも大丈夫！

私は令和5年4月に採用され、海上通信関係の無線局の許認可・検査業務を担当しています。例えば、許認可業務として、船舶に無線局を開設する申請があった際に、法令に基づいて審査を行った上で免許状を発給しています。また、検査業務では、無線局の開設や変更に伴い、又は定期的に、検査が必要な際、周波数や電力等について検査を実施しています。検査として出張する機会も多くあり、気分転換にもなっています。無線や電波があまり身近なものではなく、仕事ができるか不安に思う方もいるかもしれませんが、でも、大丈夫です。私自身、文学部出身で無線に関する知識は入局するまで全くありませんでしたが、周囲の方々の丁寧なサポートのおかげで、日々勉強しながら働くことができています。

QUESTION

Q1 九州総合通信局を志望した決め手は？

今後も発展し続ける情報通信の分野から国や九州に貢献できることに魅力を感じたからです。

Q2 職場の雰囲気は？

とても和やかです。分からないことがあれば周囲の人がすぐに優しく教えてくれます。

Q3 休日の過ごし方は？

友人とカフェや飲みに行きます。ライブやフェスに行くことも。マイブームは温泉と岩盤浴です。



Message

先輩からのメッセージ

8:30 出張準備

重要無線の免許人から、無線に混信があった旨の連絡がありました。急いで準備して、現場へ急行します。



10:00 現場到着

免許人と打ち合わせを行った後、電波を測定する機器を使い、混信の原因を究明します。



12:00 昼食

出張中のランチは、九州各地の美味しいものを食べるチャンス！

13:00 調査続行

混信の原因を特定できるまで調査を続行します。



17:15 調査終了

無事に混信の原因を突きとめることができました。解決を祝い、おいしいお酒とお魚をいただきます。



電波監理部 監視調査課 係員

平成30年度10月採用
法学部卒

楽しみながら学べる

私は民間企業から転職して、平成30年10月に入局しました。

1年目は情報通信利活用による地域振興業務を、2年目はアマチュア無線関係の許認可業務を経験し、3年目で本省へ異動しました。

本省では、九州局だと経験できない業務に携わりながら、全国の同期が集まる中で、初めての東京生活を満喫して、有意義な時間を送ることができました。

現在は、鉄道や防災といった、社会生活に不可欠な重要無線通信に混信妨害が起きた際に、その原因の特定と、速やかな排除を行う電波監視業務に携わっています。

前職も含め、今まで電波とは縁遠い人生を歩んできましたが、入局後の研修や、先輩方からの丁寧なご指導のおかげで、新しい知識を楽しみながら吸収することができています。

QUESTION

Q1 3年目本省異動ではどんな仕事をしてた？

国会答弁の調整や、他省庁・他局からの照会をとりまとめるなど、総括的な庶務業務をしていました。

Q2 本省で学んだことは今の業務に活かしている？

本省ならではの部署だったので直接的ではないですが、予算配分の流れ等、基本的なことを学べました。

Q3 休日の過ごし方は？

家でダラダラするか、外で体を動かすかの極端な二択です。



先輩からのメッセージ



情報通信部 電気通信事業課 係員

令和5年度4月採用
農学部卒

安心・安全な インターネット環境のために

大学時代に農学を専攻する中で、農業にこだわらず様々な環境において問題解決に導くICTの活用に関心を持った事をきっかけに、情報通信分野に携わることができる九州総合通信局を志望しました。

現在は、電気通信事業課に所属しており、スマホやインターネット回線などの電気通信サービスに関わる消費者保護業務を担当しています。具体的な業務としては、インターネット回線を販売する販売代理店の届出受付や青少年が携帯電話やインターネットを安心・安全に利用するために講師として学校へ出向いて講座を実施したりしています。その他にも、電気通信事業者と消費生活センターの意見交換会の開催準備なども行っており、誰もが安心・安全に電気通信サービスを利用できる環境作りに携われる事にやりがいを感じています。

QUESTION

Q1 九州総合通信局を志望した決め手は？

情報通信分野の安心安全な環境作りや利活用に向けた業務を行える非常にやりがいがある職場であり、基本的に通勤もなく、地元の九州で働ける点に惹かれました。

Q2 頼れる先輩はいる？

同じ担当の上司に、毎日のように頼っています。分からないことがあれば、皆さん優しく丁寧に教えてくれます。

Q3 休日の過ごし方は？

同期と一緒にサッカーを楽しんでいます。サッカー後に食べるラーメンが格別においしいので、ラーメン屋さんに寄り道してから帰るのが最近の楽しみです。



電波監理部 電波利用環境課 係員

平成28年度4月採用
工学部卒

今までの経験を活かす

主な業務は、高周波利用設備の許認可です。高周波利用設備には、IH調理器やMRI、非接触ICカードなど生活に身近なものがたくさんあり、漏洩電波が他の無線通信に妨害を与える可能性があるため、申請の審査を行います。普段はデスクワークですが、応援要員として監視調査課の出張に参加することがあります。当初はペーパードライバー歴が長かったため車両の運転に不安がありました。しかし、周りの方のサポートもあって運転に慣れ、出張先でしかできない業務を経験させてもらっています。3年日本省異動では、電波法を読み解く力や無線通信に関する知識などを培いました。九州に帰ってからも本省での経験を活かせる場面が多々あり、行ってよかったなと思います。

QUESTION

Q1 3年日本省異動ではどんな仕事をした？

衛星通信を行う無線局の許認可です。また、衛星通信に関する議題を検討するため、国内会議の開催や国際会議への出席をしていました。

Q2 女性も働きやすい？

仕事と家庭を両立するための制度が充実しており、制度利用に理解ある職場のため、男女共に働きやすいと思います！

Q3 休日の過ごし方は？

温泉が好きなので、ちょっと遠くまで旅行したり近場の大浴場に行ったりします。写真は9月に訪れた道後温泉です。



先輩からのメッセージ



総務部
企画課
係長

平成5年度4月採用

みんなが見るサイトを慎重に！

無線局の監理や監督、地域情報化、電気通信業務、電波監視など、九州総合通信局の業務は多岐にわたっていますが、それらをPRするのが私の担当する広報の業務です。

プレスリリースの際には報道機関とやりとりをして、新聞等に掲載してもらえるよう働きかけを行ったりします。局の各種情報をウェブサイトやSNSを通じて公開したり、年度当初には局の1年間の重点施策集を作成して、ウェブ上に公開しています。

また、情報収集も大事な業務で新聞やウェブから業務に関連する記事をピックアップして、担当部署に共有しています。プレスリリースやウェブの公開は誰でも見られるので、間違いがないかとても慎重に業務を行っています。

QUESTION

Q1 係長と係員の違いは？

係長になると、決断することが増えます。部下の指導の際もいろんなことを決めて、指示して、業務を進めていきます。

Q2 仕事をするうえで大切にしていることは？

正確性と美しさです。正しい情報を美しく(見栄え良く)公表していきたいです。

Q3 休日の過ごし方は？

天気が良ければ愛車のロードバイクに乗ってます。季節を感じながら風に吹かれて、最高に気持ちいいです。



電波監理部
監視調査課
上席電波監視官

昭和62年度4月採用

大切なのはチームワーク

電波監視の業務は、3名編成の出張が多いのでチームワークは大変重要です。また、重要無線通信の電波障害対応の現場では、過去の経験や事例が大変貴重な情報源となるため、日頃から過去の事例などを研究して知識を養うことにも力を入れています。

種子島のロケット打上げでは、現地対応もありますので、運が良ければ仕事の一環として現地で打上げに立ち会うこともあります。そのほか、九州各地からの申告対応では、原因究明のため普段は立ち入ることの出来ない場所に入るなど、貴重な体験をすることも多くあります。

文系で技術に詳しくなかった人でも、専用の測定器を使って経験を重ねることで、目には見えない電波の障害源を突き止め、排除してきます。その使命感・達成感は、私たちの職場の大きな魅力だと思います。

QUESTION

Q1 上席ならではの仕事は？

迅速な対処が求められる重要無線通信の障害では、その現場指揮などを行います。その他には、出張の計画や調整に加え、職員の測定器操作習熟のための訓練立案を行っています。

Q2 仕事をするうえで大切にしていることは？

一つずつ着実に。仕事をしていると、時には一度に複数の案件を抱えて、余裕が無くなってしまいます。そんなときも、一つずつ着実に片付けていけば、案外何とかなるものです。

Q3 休日の過ごし方は？

自宅庭先に建てたDIY作業小屋で、何か作れるものがないか探しながらまったりと過ごしています。



採用後のキャリア

係員級

指導員による実務指導や様々な研修を通じて、業務に携わります。3年目には総務省本省で一定期間(2年間予定)の勤務があります。



係長級

中堅職員として、携わる業務もより責任が伴うものになります。また、係員職員のサポートにも関わる立場になります。



課長補佐級

より直接的、具体的に施策に関わっていく立場となります。経験を存分に活かし、課長のサポートや部下の指導にも携わります。



課長級

課室の長として業務遂行の指揮をとる活躍を求められるとともに、管理職としてのマネジメント能力も要求されます。



福利厚生・ワークライフバランス

職員それぞれの「キャリア」の両立のために。

～多様な働き方を支援～

「職員一人一人の人生が充実してこそ、国民のためのよりよい働き方が可能になる」。九州総合通信局では、ワークライフバランスを推進し、その一環として働き方改革に取り組んでいます。

特に、職場に縛り付けられない働き方の追求＝リモートアクセス環境の実現、職場における仕事の仕方の改革＝オフィス改革に力を入れるなど、「シゴトの進め方の抜本改革」に取り組んでいます。

学びと成長



各種業務内容・役職に応じた研修を準備、 オンライン研修も整備

業務における幅広い学びのニーズに応えるため、研修所(東京都)を利用した集合研修、テレビ会議システムを活用したオンライン研修、業務上で使用する各種機器の使用研修、許認可を行っている最新型無線設備等の実地見学など、各種業務内容・役職に応じた学びのコンテンツを取り揃えています。育児・介護等で実地研修の参加が不可な職員のために、オンライン受講可能な研修も取り揃え、場所を選ばず全ての職員が学ぶことのできる環境を整備しています。

柔軟な働き方に対応した勤務時間制度



ICT(情報通信技術)を利用し、時間や場所を有効に 活用できる柔軟な働き方

私たちの職場では、自宅勤務を可能とするテレワークを推進しております。テレワークの推進にあたり、オフィス改革としてペーパーレスや電子化の推進・オンライン会議の促進等により、テレワークが一般的な勤務形態の1つとして定着しつつあります(令和5年テレワーク実績:平均2回/月)。テレワークは、ICTを利用し、時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方であり、職員が最も効率的な仕事ができる場所を自主的に選択し、生産性の高い働き方につながっています。働く時間と場所の柔軟化にも取り組んでおります。ワークライフバランスの実現を図るために、公務の運営に支障がないと認める範囲で「フレックスタイム制(コアタイム有)」の制度も整備しています。

福利厚生・ワークライフバランス

休暇・福利厚生制度



心身ともに充実した状態で意欲と能力を十分発揮できる環境を実現

私たちの職場では、職員が有意義なプライベートを過ごし、充実した心身で働けるよう、様々な休暇制度が設けられています。毎年20日分、有給休暇(1時間単位で取得可能)が付与され、職員は自らの趣味や家族との団らんの時間を確保するために有休を取得しています(令和5年 年次休暇取得日数: 平均18.7日/月)。出産・子育てのタイミングでは産休・育休、自身が病気や怪我などにかかった際には病気休暇、両親の介護等が必要などときには介護休暇などの休暇制度を利用することが可能です。(休暇制度に関しては下記の人事院HPをご覧ください。)

福利厚生としては、健康診断・ストレスチェックの実施、共済による給付制度、住居宿舍の貸与などがあります。

両立支援制度



仕事と生活のバランスを取ることで、長く働けることができる制度を整備

妊娠・出産・育児・介護などのライフステージの変化を受け入れ、働き続けるためには、各種休暇を取得する、勤務時間を早出/遅出に切り替えるなど、必要に応じて、ワークライフバランスの両立に向けた制度を利用することが大切です。私たちの職場では、職員の希望や事情に配慮した働き方ができるよう、職場環境を整備しています。特に、近年は男女問わず育児休業の取得率が100%であり、男性職員であっても育休を取れる環境を整備しています。

制度利用者の声



総務部
企画課係員
(平成29年採用)

令和5年12月頃から育児休業を取得しました。取得にあたり、意思確認や制度の説明等を何度も受けて準備を進めました。出産予定日前には妻の状況をみて有給休暇を流動的に取得し、休業中は必要な連絡を適宜いただけたので、安心して育児等に専念できました。復帰後には、テレワークや両立支援制度の活用を勧めていただけたので、子育てに理解のある素敵な職場だと強く実感しました。職場の環境と制度を十分に活用して、ぜひ、子どもの成長や育児を家族で共有して欲しいと思います。



総務部
財務課係員
(平成27年採用)

令和4年9月に出産し、半年程度育児休業を取得しました。復帰後は仕事と育児の両立のために様々な両立支援制度を利用しました。保育園の送迎時間等の確保のために、休憩時間の短縮(30分)のほか、子が0歳の時は毎日保育時間1時間(有給休暇)、子が1歳を超えてからはフレックスタイム制で出勤時間を遅くしました。公務員は就職前から福利厚生が良いイメージでしたが、実際に両立支援制度を利用してみると、良い意味で想像以上に利用がしやすく、周囲の理解と配慮がある素敵な職場だと感じています。

➤ 両立支援制度の詳細はこちら
参考: 人事院 妊娠・出産・育児・介護と仕事の両立支援のページ



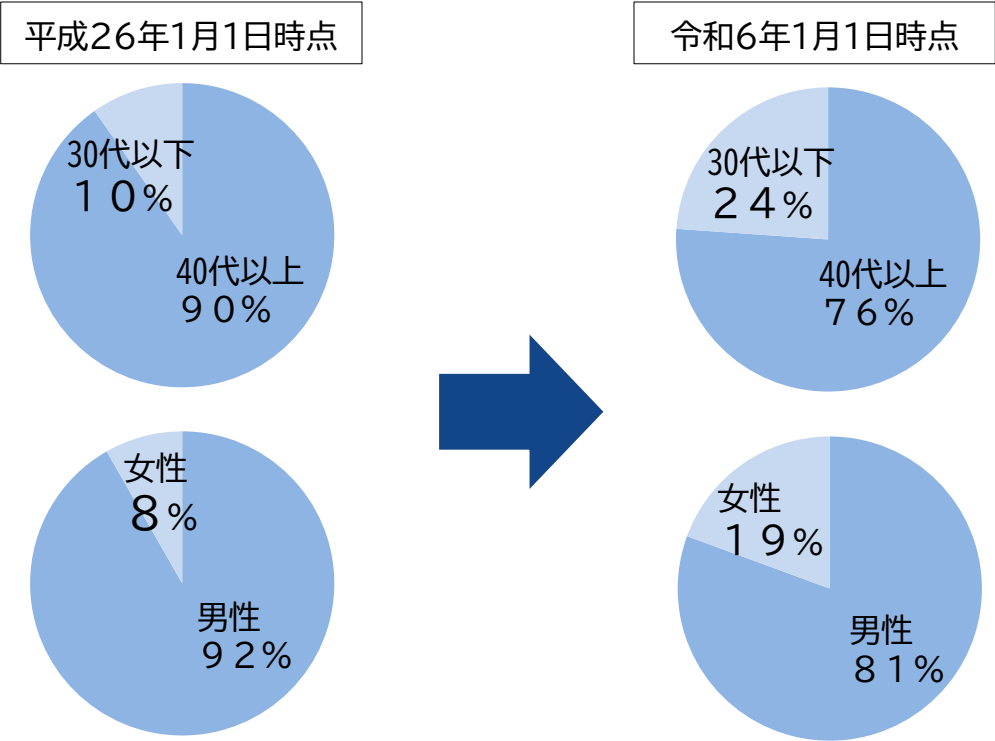
➤ 勤務時間・休暇制度
参考: 人事院HP



Q & A

Q. 職員構成を教えてください。

A. 令和6年1月現在、約140名の職員が働いています。
近年は、若手職員、女性職員の割合が増えてきています。



Q. 採用実績を教えてください。

A. 直近5年間の採用実績は以下のとおりです。(国家公務員採用一般職試験(大卒程度))
なお、直近5年間の採用者における離職率は0%です。

	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
行政	1	2	2	3	2	2		3	1	3
技術	2		1		1		1		1	

Q. 勤務地はどこですか？

最初に配属された部署でずっと勤務するのですか？

A. 熊本市西区春日の**熊本地方合同庁舎のみ**です。本人の希望や適性などを考慮し、およそ2～3年ごとに別の部署へ異動することとなります。なお、採用から2年経過後に、総務省本省で一定期間(2年間の予定)の勤務があります。

Q & A

Q. 情報通信の専門知識が必要で難しそうですが…？

A. 総合通信局は情報通信分野の幅広い業務を行っていますが、採用直後、総務省本省や情報通信政策研究所(東京都国分寺市)において約1ヶ月間の新規採用者研修があるほか、関係する各分野の専門研修制度がありますので、業務を行いながら専門知識を習得することができます。



情報通信政策研究所



可搬型放送設備実習

Q. 残業はありますか？

A. 業務の効率化を行い、超過勤務時間の削減を図っています。

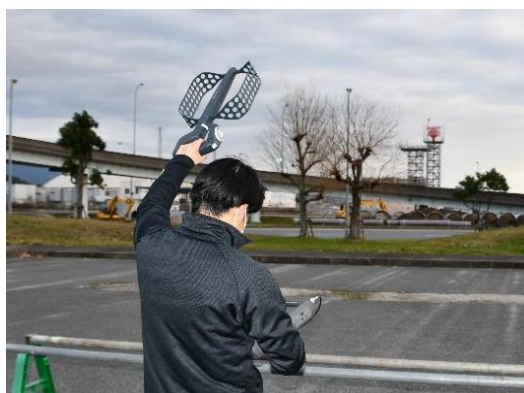
令和5年の実績は、平均6.3時間/月です。※係長層以下(再任用者除く)

Q. 出張はありますか？

A. 九州内の地方自治体、大学、企業などへの訪問、無線局の検査、電波監視などの出張があります。部署や時季により変動がありますが、少ない部署(総務部)では平均0.2日/月、多い部署(電波監理部)では平均4.6日/月程度出張しています。



インターネット利用啓発



電波監視

Address

所在・採用連絡先

採用連絡先

〒860-8795

熊本市西区春日2-10-1

熊本地方合同庁舎A棟 11階

九州総合通信局

総務部 総務課 人事係

096-326-7809

h-soumu_atmark_ml.soumu.go.jp

※ 迷惑メール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。
送信の際には、「@」に変更してください。



交通アクセス

JR熊本駅より徒歩5分

市電二本木口より徒歩1分

二本木バス停より徒歩2分

- 採用情報はこちら
九州総合通信局HP
採用情報

